

「住みよい地球」全国小学生作文コンクール 2020
小学校低学年の部 最優秀賞

大好きな海をまもりたい

鹿児島県知名町立下平川小学校二年 竿 めい

「わたし、おきのえらぶの海が大すき。」

かぞくでビーチクリーンをはじめて四年目になりました。お姉ちゃんの夏休みのしゅくだいでひょうちゃくゴミのことをしらべたのがはじまりでした。

さいしょは、「わたしがすてたゴミじゃないのにな」と思っていました。でも、お姉ちゃんたちがいっしょうけんめいひろっていたので、わたしもやってみました。すると、いろんなことに気づきました。

ゴミの中で一ばん多いのは、プラスチックゴミでした。おとうさんが、「くじらやカメがえさとまちがえてたべてしまっ、おなかの中にたくさんプラスチックゴミがたまっ、しんでいくんだよ。」

と教えてくれました。このプラスチックゴミが、わたしの大すきな海をよごしたり海の生きものたちをこわがらせたりしているんだと思って、とてもかなしくなりました。しかも、プラスチックゴミはすなつぶみたいに小さくなり、それを魚がたべて、その魚を私たちがたべているのです。とてもこわいあなあ。

今、わたしは、すなはまにおちている小さなプラスチックをピンセットでとっています。どこにあるか分からなくて、さがすのがたいへんです。でも、生きものたちのためにがんばってとっています。とったプラスチックはごみひろいのあとに、みんなでならべてアートをつくっています。それを見て、わたしたちと一しょにかつどうをしてくれる人もふえました。

わたしは大すきな海をまもりたいという気持ちがどんどん大きくなっています。今は、まいあさのビーチグリーンがたのしいです。

海の生きものたちをたすけてあげたいな。もっともっと、すみやすい海にしたいな。だって、おきのえらぶの青い海は、白いすなはま、海の生きものたちが大すきだから。